

一 般 質 問 要 旨

(令和7年12月1日・2日)

(質 問 順 序)

1	相 馬	エミ子	議員	(市 民 の 風)
2	田 村	儀 光	議員	(真 政 会)
3	金 谷	真 弓	議員	(真 政 会)
4	菅 原	喜 博	議員	(令 和 会)
5	佐 藤	和 幸	議員	(真 政 会)
6	伊 藤	励	議員	(市 民 の 風)
7	明 石	宏 康	議員	(真 政 会)
8	佐 藤	芳 忠	議員	(市 民 の 風)
9	工 藤	賢 一	議員	(市 民 の 風)
10	吉 田	勇一郎	議員	(令 和 会)
11	佐々木	公 司	議員	(令 和 会)
12	今 泉	まき子	議員	(日 本 共 産 党)
13	秋 元	貞 一	議員	(令 和 会)
14	吉 原	正	議員	(市 民 の 風)
15	花 田	強	議員	(市 民 の 風)

○ 相 馬 エミ子 議員 (市民の風)

1. 熊対策について

- (1) 東京農業大学教授の熊対策のコメントに対する市長の考えは
- (2) 対応が遅過ぎるとする市民の声について
- (3) ガバメントハンターの確保と専門職員の育成について
- (4) 河川敷のやぶ払いへの対応について
- (5) 学校や保育施設の安全確保対策について
- (6) 熊と遭遇したときの対応について

2. 除排雪対策について

- (1) 除雪業者に対する指導について
- (2) 除雪業者に対する表彰制度について

3. 障害者就労支援施設との懇談について

- (1) 障害者就労支援施設との懇談の場を設けるべき
- (2) 大館市の障害者福祉についての市長の考えは

4. 市立総合病院の眼科の待ち時間の解消について

- (1) 現在の眼科の医師体制について
- (2) 大学病院から医師を派遣できないのか
- (3) 市立総合病院眼科の待ち時間解消について

○ 田 村 儀 光 議員 （真 政 会）

1. 経歴疑惑について

- (1) 大学からの返答はあったか
- (2) フェイスブックへ誤記載したことに対して弁明は

2. 市政運営について

- (1) おおだて未来づくりプランのパブリックコメントの状況は
- (2) 重点的に取り組む施策は
- (3) 物価高騰対策としてどのような支援を考えているか

3. トークセッション i n 渋谷について

- ・ 成人式等に合わせて市内で開催すべき

○ 金 谷 真 弓 議員（真 政 会）

- ・ 災害用資機材備蓄基地の整備について
- ・ 県や他市町村等との広域的な連携が進む中、被災地支援のための資機材等の備蓄基地が必要ではないか

○ 菅 原 喜 博 議員 （令 和 会）

1. 出没が多発する熊への対策について

- (1) 熊の個体数管理に向けて、地元猟友会ハンターの確保と後継者の育成は喫緊の課題である。本市でも狩猟免許取得補助などの人材確保対策を行っているが、さらに踏み込んだ対策を進めるべき
- (2) 自治体が銃猟資格を持っている専門人材を職員として直接雇用するガバメントハンター制度への期待が高まっている。本市でもガバメントハンターを募集、採用する考えはあるのか
- (3) 熊を呼び寄せる誘引樹木の伐採について、空き家内にある樹木や所有者が不明な樹木などの伐採が難しい状況にある。これらの放置された樹木に対して、スムーズな伐採を可能とする法整備を国へ要望すべき

2. 副業型地域活性化起業人制度の活用について

- ・ 副業型地域活性化起業人制度を活用し、どのような課題に取り組み、どのような成果を期待しているのか、展望を伺う

○ 佐 藤 和 幸 議員 （真 政 会）

1. 部活動の地域展開について

- (1) 部活動の地域展開に期待する効果と想定される課題等について
- (2) 保護者にとって最大の課題である移動手段の確保について

2. 誰一人取り残さない学びの多様化と大館教育のさらなる進化について

- ・ オンラインと対面の両面から、全ての児童・生徒に大館教育を届けられる仕組みづくりを

3. 主要地方道比内大葛鹿角線大葛地区のバイパス化に向けた今後の取組は

- ・ 広域連携、産業振興、観光戦略の観点からも早期整備が必要と考える。実現に向け活発な働きかけを

○ 伊 藤 励 議員 （市民の風）

1. 町内会と行政が協働する熊対策モデルの構築について

- ・ 空き家や放置果樹、所有者不明土地、草刈り困難など、熊対策に係る地域共通の課題が顕在化している。町内会サミット等を活用し、町内点検を推進する熊対策モデルを構築してはどうか

2. 市公式LINEへの民間イベント情報の掲載について

- ・ 市公式LINEの登録促進のため、掲載基準を明確にし、民間イベントも発信できる仕組みを整備してはどうか

○ 明 石 宏 康 議員（真 政 会）

1. 旧木村邸のこれからについて

- ・ 市に寄附したいとの申し出がある。活用の裾野は広く、よい話ではないか

2. 大館市病院事業経営強化プランの見直しについて

- ・ 厳しい経営状況にある。「収益より使命」は分かるが、難しい判断も避けられないのではないか

○ 佐 藤 芳 忠 議員 （市民の風）

1. 2022年度1,397万円でPWCに委託した病院経営プラン

- ・ PWCに委託した理由と黒字化について

2. 2024年度1,369万円でPWCと一社随意契約した病院経営改善業務

- ・ なぜ1,369万円もの高額で一社随意契約したのか

○ 工 藤 賢 一 議員 （市民の風）

1. 買物困難者対策について

- ・ 流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等日常の買物が困難な状況に置かれている買物困難者が急増している。ニーズの把握・分析と地域事情に即したきめ細かい対策が必要と考えるが、市長の考えは

2. 集落支援員の導入について

- (1) 8年度の導入予定人員は4名と定められている。定員を超過する応募が寄せられた場合の対応は
- (2) モデル地区の定義、モデル地区を設定した意義について伺う。また、専任者の設置は
- (3) 集落支援員導入の効果と課題を検証するとともに、集落支援員を導入できない町内会との情報共有・連携を図るべき

3. 病院事業経営強化プラン改定について

- ・ 改定プラン案について、特別委員会設置により熟議すべきと考えるが市長の考えは

○ 吉 田 勇一郎 議員 （令 和 会）

1. ふるさと納税の寄附額拡大について

- ・ ふるさと納税の寄附額を増やすためにどのような手段を講じるのか

2. ロボット活用による人手不足対策と産業振興について

- ・ 全国ロボット・地域連携ネットワークへ加入し、ロボット活用の支援体制構築に着手してはどうか

3. 地元を離れた学生へのふるさと仕送り支援について

- ・ 地元を離れた学生への仕送り送料を負担し、学生に市公式LINEへ登録してもらう事業を行ってはどうか

1. 物価高騰対策について

- ・ 電気、ガス、灯油、ガソリン等の光熱費や、食料品の高騰が家計や企業経営を圧迫している。市の幅広い支援を

2. 獣害対策について

- (1) 熊、イノシシ、カラスへの即効性のある対応は
- (2) 熊出没による経済的苦境への対応は
- (3) 国の熊被害対策パッケージへの対応は
- (4) ガバメントハンターの検討状況は
- (5) ジビエポータルサイト「ジビエト」の活用は
- (6) 民有林の整備の状況は

3. 大規模災害への対応について

- (1) 地震などの自然災害への対応は
- (2) 大規模火災を未然に防ぐには
- (3) 老朽化した空き家への対策の状況は

4. 人生100年時代への対応について

- (1) 高齢者の集いやサロンなど、居場所づくりの整備と周知は
- (2) 健康寿命延伸の取組は
- (3) 免許返納者など交通弱者への対応は

5. 身体障害者でも住みやすいまちづくりについて

- (1) 東京2025デフリンピックの周知・応援のために本市がしたことは
- (2) 聴覚障害者への対応は
- (3) 身体障害者手帳の交付状況は
- (4) 点字ブロックの普及、整備状況は

○ 今 泉 まき子 議員 （日本共産党）

1. 熊対策について

- ・ 耕作放棄地等の管理や空き家の樹木の管理、緩衝帯の整備など、熊と人間のすみ分けのための対策強化を

2. 災害時の対応について

- (1) 災害時避難行動要支援者名簿の登録拡大や個別避難計画の作成は進んでいるか
- (2) 大規模災害の際、市指定の避難所以外での避難者への対応をどのように考えているか

3. 経済的支援に頼らない子育て支援体制の充実について

- (1) ヤングケアラーの実態調査は実施されたか
- (2) 年度途中でも育児休業明けに入園できる体制づくりを

4. 介護事業所への支援について

- ・ ガソリン代の助成を検討すべきでないか

5. 物価高騰対策について

- ・ 暮らし応援の商品券配布を検討すべきでないか

○ 秋 元 貞 一 議員 （令 和 会）

1. 本市も主体的な花輪線利用促進案を検討しては

- ・ O N S E N・ガストロノミーウォーキングとタイアップした花輪線利用促進イベントなどの定期開催の継続を望む

2. 大館ぐるみ温泉郷の柱としての大滝温泉の再生について

- ・ 市内の温泉施設が激減している現状において、環境省が推進する新・湯治推進プランを活用して大滝温泉を再生すべき

3. 地域みらい留学制度について

- ・ 全国から注目されており、魅力的で若者人口減少対策の一助にもなり得る地域みらい留学を自治体主体で検討しておくべき

○ 吉 原 正 議員 （市民の風）

1. 市民が安心できる医療を

- (1) 大館市病院事業経営強化プランの見直しについて、人件費の上昇、医療材料の高騰等で全国で病院経営の大幅赤字化が問題となっていることから、国は診療報酬等の引上げを前倒しで行うとしている。こうした動向を見ながら検討すべきでないか
- (2) 地域医療とは、病院での治療にとどまらず、予防から介護、さらに福祉に至るまでを総合的に支える医療体制と言われており、地域包括ケアシステム内で重要な役割を担うとされている。大館の地域医療の現状と将来について、管理者の見解を伺う
- (3) 市民による行政の通信簿では、医療の重要度が最も高いが、満足度は低い状況が続き、市民の医療への関心は高い。市民の声を大事にする市長として、強化プランの見直し案は、不安の払拭と理解を求めるためにも市民に直接説明する機会をつくるべきでないか

2. 令和8年度の市農政について

- (1) 令和の米騒動と言われた米不足から一転、米余りの心配が出てきた。小泉農政の米増産から、鈴木農政では需要に応じた生産に変化した。まさに猫の目農政の典型である。市はどう対応していくのか
- (2) 今年の米価60キログラム当たり3万円は、農家にとって久しぶりに収穫を喜べる価格である。3年前は60キログラム当たり1万1,000円で、生産コストを割り込む価格で離農に拍車をかけた。営農を続けていける価格の形成こそ農家の願いであり、市長には様々な機会を通じて政府への働きかけを要請する。また、本年度の小規模農家支援策は好評であった。来年度も継続すべきでないか

○ 花 田 強 議員 （市民の風）

1. 移住定住の推進と熊対策について

- ・ 移住定住人口を拡大するためには熊対策が必要と思うが、市長の考えは

2. 町内のごみ箱購入に補助金を

- ・ まちづくり団体事業費補助金とは別枠でごみ箱購入に補助金を交付する必要があると思うが、市長の考えは